

6月6日（水）

シカゴ市議会表敬

シカゴ市議会を表敬訪問し、マーガレット・ラウリーノ、トム・タニー両シカゴ市議会議員から、市議会委員会室においてシカゴ市議会の説明聴取、本会議場において本会議の流れの説明聴取及び意見交換を行った。

シカゴ市議会議員の定数は50名。50の選挙区からそれぞれ1名選出されている。市民から道路や建築関係を含め、何を聞かれても議員の責任で対応する必要があり、天気以外は議員の責任という言い方ができる。会議の定足数は過半数である26名。本会議場の座席は選挙区番号順となっており、メディアによるカメラ撮影、インターネットによる生中継が行われている。発言したい議員は挙手し、指名されてからでないと発言できない。発言は自席に設置されたマイクを通じて行う。

本会議の流れとしては、まず、事前に登録したシカゴ市民が3分間質問できる時間がある。質問内容に制限はなく、議員が質問することもある。答弁は担当部署のスタッフが行う。市民からの質問の後、警察、消防、教師など、シカゴ市のために尽力し、顕著な功績をあげた個人の業績を称えている。その後、各委員会の委員長から報告があり、採決となる。本会議の議事進行をするのは市長であり、議長は市長が欠席の時に市長の代理となる。

委員会は財務予算委員会など10委員会あり、1委員会の所属議員は10～15名程度。1人の議員が複数の委員会に所属することもできる。委員会の中では財務予算委員会が一番重要であり、1期目の議員は財務予算委員会のメンバーにはなかなか入れない。2人以上の委員が議案に反対すれば、1～2か月の間その議案の審議をしないことができる。



マーガレット・ラウリーノ議員より説明を聴取する様子

【意見交換】

○シカゴ市議会の会派には政党色はあるのか。

黒人問題、LGBT問題など、1人の議員が特定の問題を議論する複数のグループに所属可能であり、議員は選挙区の代表というだけではなく、公的に選挙区の全責任を負う。

○大阪市における選挙区の課題は？

大阪市には24選挙区あり、一つの区から複数名が選出される。個人としてよりも、会派として責任を負っている。少数意見が通りにくい面がある。

○シカゴ市における選挙区の課題は？

共和党の議員が1名で残りの49名が民主党に所属しているが、政党よりも個人の選挙区の問題が優先される。シカゴ市議会は全米においてもユニークであり、他の地域は立法府としての責任だけを負うが、シカゴ市は議員が選挙区の全責任を負っている。



シカゴ市議会議場での意見交換の様子

姉妹ストリート提携調印式

パークハイアットホテル7階特設会場において、吉村市長、エマニュエル シカゴ市長の挨拶の後、調印式が行われ、今後、御堂筋、ザ・マグニフィセント・マイルが姉妹ストリートとして交流していくことが確認された。調印文書は次のとおり。

日本国大阪市とアメリカ合衆国シカゴ市との メインストリートにおける連携、交流に関する協定書

日本国大阪市とアメリカ合衆国シカゴ市（以下「両市」）は、1973年の両市の姉妹都市提携に基づき、両市の多様な協力関係を強化し、かつ相互理解に対して貢献したいと念願している。

2018年、両市は姉妹都市提携45周年を記念して、両市のメインストリートであるシカゴ市のザ・マグニフィセント・マイル（ノース・ミシガン・アベニュー）及び2017年5月に完成80周年を迎えた大阪市の御堂筋（以下「両市のメインストリート」）の積極的な連携・交流を促進することを確認した。

本日、両市は、メインストリートを活用したまちの活性化に向け、以下の内容に合意する。

1. 両市のメインストリートを姉妹ストリートとして位置づけ、姉妹ストリートの以下の分野において、行政のみならず民間団体とも協働し、友好的に双方の協力を促進する。
 - 1.1 芸術・文化交流・観光・新技術活用の分野におけるビジネスやマーケティングに活かすことができる道路に関連させた施策連携
 - 1.2 人中心の道づくりに向けた道路空間再編の分野における技術交流、情報交換、情報発信
 - 1.3 官民連携・パブリックスペースを活用した賑わい創出などの分野における技術交流、情報交換、情報発信
2. この協定書の結果、他分野を含むより広範囲の包括的な双方の関係に発展させる場合は、両市はさらに友好的な協議を行うものとする。

3. 本協定書の遂行にあたって何らかの疑義が生じた場合、友好的な協議と交渉で解決する。
4. 有効期限
 - 4.1 この協定書は、署名の日から2023年12月31日まで有効とする。
 - 4.2 両市の協力に関する評価に基づき、書面の交換で通知することにより、更新することができる。

この協定書は日本語・英語それぞれ2部ずつが署名される。いずれの言語も正文とするが、内容に疑義のある場合、英語版を優先する。

2018年6月6日

大阪市長 吉村洋文

シカゴ市長 ラーム・エマニュエル



調印式の様子①



調印式の様子②

その後、大阪府中央区を拠点とする、ちんどん通信社の先導によって華やかにパレードが行われた。ウォーター・タワー・パークをスタートし、ミシガンアベニューの歩道をシカゴ市民と一緒に練り歩き、姉妹ストリートの提携に花を添えた。



ちんどん通信社の先導によるパレードの様子



シカゴ市民と一体となったパレードの様子